

公認心理師 実務経験実施施設
(公認心理師法第7条第2号に規定する施設)

実務従事者募集要項

1 設置者の名称・所在地	医療法人社団心劇会 060-0003 北海道札幌市中央区北3条西4丁目1-1 日本生命札幌ビル3階
2 業務を行う施設の名称 所在地・勤務地	① さっぽろ駅前クリニック 北海道リワークプラザ 060-0003 北海道札幌市中央区北3条西4丁目1-1 日本生命札幌ビル3階 ② さっぽろ駅前クリニック 発達障害ワークサポートプラザ 060-0004 北海道札幌市中央区北4条西4丁目1 MMS 札幌駅前ビル6階 上記①と②のうち、いずれかに勤務していただきます(両施設間は徒歩1分の距離)
3 業務を行う施設長、 プログラム責任者 氏名	院長 横山 太範
4 プログラムの開始日時	2022年4月1日
5 プログラム指導者 氏名	横山 太範 (医師・医学博士) 医師精神保健法指定医・産業医・臨床心理士 日本集団精神療学会認定医・東京サイコドラマ協会認定サイコドラマティスト ◆ 最終学歴 ◆ 国内: 東京大学 大学院 医学研究科 (脳神経医学専攻) 海外: University of East London, Tavistock Clinic PGD course 石川淳子・中村亜紀子・大野史博・荒川恵理子 (公認心理師・臨床心理士) 横山亜由美 (医師・医学博士)
6 募集内容の詳細	<p>◆<u>募集定員</u>◆ 4名 <参考> 現職員数: 計63名 (女性42名・男性21名)</p> <p>◆<u>応募条件</u>◆ 公認心理師試験受験資格に必要な科目を修め、または、本年度中に修める予定で、かつ、所定の期日に卒業することが見込める状態にある大学の学部生、および、諸条件を満たした既卒の方を対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応募数の多寡に関わらず、選抜によって、実務従事者の内定者を決定します。 ・ 選抜方法は書類選考+個人面接(2回)+集団討論(1回)を予定しています。 ・ 取得単位や取得予定単位等の観点から、自らが「実務従事者となる条件を持つ、あるいは、確実に持つ予定か否か」は指導教授等に必ず確認して下さい。 <p>◆<u>応募方法</u>◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイナビ2022に必ず登録し、マイナビからエントリーして下さい。 ・ マイナビ上で案内するオンライン説明会を視聴して下さい。 (詳細は右記QRコードよりマイナビ2022参照)  <p>◆<u>選考方法</u>◆</p> <p>選考方法: 書類選考 … エントリー者に個別に応募書類をメール送信いたします。 1次選考 … ZOOMを用いてオンライン個人面接を行います。 最終選考 … 当院にて対面の個人面接と集団討論を行います。</p> <p>選考会場: 1次選考 … ZOOMを利用したオンライン面接 最終選考 … 項目2に記載してある当院拠点の②</p> <p>実施日時: 1次選考 … 複数日程を設定し、応募者に別途通知します。 最終選考: 5/21(金)PM ~ 22(土)AMの2日間で実施します。</p> <p>交通費: 当院規定により、最終選考時のみ支給します。(最大20,000円まで)</p> <p>応募書類: A: 当院指定履歴書、B: 科目履修証明書、C: 卒業見込証明書を郵送、または、PDF化したデータを指定アドレスにメール送信して下さい。 メール添付で提出した方は、後日に必ず郵送でも提出して下さい。 提出期限などの詳細はエントリー者に別途お知らせします。</p> <p>連絡方法: 「マイナビ」もしくは「項目10に記載する窓口とのメール送受信」とします。 履歴書に記載するメールアドレスはPCで受信するものに加えて、必ず携帯電話・スマートフォンで着信可能なものも記載して下さい。 また、携帯電話は可能な限り留守番電話の設定をするものとします。 (留守番電話の設定ができない場合はその旨を連絡願います)</p>

◆ **勤務時間** ◆ 1ヶ月単位の変形労働時間制と4週6休制を採用（シフトにより変動）

- ・ 平日は概ね下記の組合せでシフト勤務します。（休憩1時間）
例A) 8:30～16:30 7時間 / 例B) 10:30～18:30 7時間
- ・ 土曜日は9:30～16:30の固定6時間の隔週勤務（うち1時間は休憩）
- ・ 上記AとBは変形労働時間制により、7時間を前後する場合があります。
- ・ 4週6休制のもと、平均就労時間は「40時間/週（平均8時間/日）」となります。

◆ **待遇** ◆ 支給月額 184,400円（奨学金含む・下記「採用形態」も参照）

- ・ 昇給あり（限定的、地域の環境に連動）
- ・ 奨学金支援（28,400円/月）… 下記「採用形態」のAとBの場合のみ支給
公認心理師国家試験の結果に応じて、最大で4年間支給します。支給した奨学金の内容に応じた期間の当院での就労継続により、その返済を免除する制度があります。
- ・ 通勤手当 上限20,000円/月
- ・ 退職金 なし
- ・ 期末手当 年1回（3月末日在籍者に対して4月20日に支給）

◆ **採用形態** ◆ 下記A～Cの選択肢から選択し、当院指定の履歴書に記載して下さい。

- A) 5年間の有期雇用契約（奨学金支給あり）
- B) 期限を定めない無期雇用契約（奨学金支給あり）
- C) 3年間の有期雇用契約（奨学金支給なし）

- ・ Aの場合、5年間の有期雇用契約職員として採用します。雇用契約期間終了後に、正職員登用の機会（試験等）を与えることは確約し、上記の「待遇」の部分に記載する奨学金を支給します。
- ・ Bの場合、正職員として雇用します。公認心理師の国家試験受験資格取得後も引き続き正職員として継続雇用します。
- ・ Cの場合、当該資格取得までの期間に限った有期雇用契約職員として採用します。雇用契約期間終了後に、正職員登用の機会（試験等）を与えることは確約します。ただし、上記「待遇」の部分に記載する奨学金はしません。

<支給額> A：月額 184,400円（基本給+奨学金 / 各種手当除く）
B：月額 184,400円（基本給+奨学金 / 各種手当除く）
C：月額 156,000円（基本給のみ / 各種手当除く）

一定期間の就労継続をもって、支給された奨学金の返還を全額免除します。ただし、一定期間の終了を待たずに退職する場合は、在職期間に応じた金額の返還を求めます。

- A：就業1年につき、奨学金受給期間の1年6か月分を免除
（3年間の受給なら、資格取得後2年間の就業で全額が免除）
- B：就業1年につき、奨学金受給期間の6か月分を免除
（3年間の受給なら、資格取得後6年間の就業で全額を免除）

◆ **福利厚生** ◆

- ・ 各種保険（健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険）
- ・ 休暇制度：4週6休制（ただし、労働時間数は週休2日制と同数）
- ・ 有給休暇：法令に従って付与します。健康診断：法令に従って実施します。
- ・ 研修等：学会、研究会、勉強会等への参加費を年間45,000円まで補助します。

◆ **公認心理師試験の受験タイミング** ◆

当院での実務従事期間：3年間を修了したのち、直近の国家試験を受験いただけます。ただし、2022年4月入職の実務従事者が同試験の日程は現時点で未確定です。

◆ **当院スタッフの出身校** ◆ 大学・大学院のみ・50音順・（院）の表記は「大学院」

東京大学（院）、鳥取大学（院）、文京学院大学（院）、法政大学（院）
北翔大学（院）、北海道教育大学（院）、北海道大学（院）、北海道医療大学（院）
旭川医科大学、岩手県立大学、国立音楽大学、神戸大学、札幌医科大学
札幌学院大学、札幌市立大学、上智大学、信州大学、静修女子大学、聖徳大学
専修大学、千葉大学、東京学芸大学、道都大学、東北福祉大学、日本大学
日本医療大学、日本福祉大学、人間科学総合大学、弘前大学、藤女子大学
藤田保健衛生大学、文教学院大学、放送大学、北星学園大学、北海道大学
北海道医療大学、北海道工業大学、北海道文教大学、酪農学園大学、立教大学

<参考データ> 2021年4月入職者採用選考エントリー者の所属大学（50音順）

青山学院大学、岩手県立大学、金沢大学、関西大学、九州産業大学
九州保健福祉大学、京都光華女子大学、近畿大学、志学館大学、信州大学
聖心女子大学、聖徳大学、帝京大学、東北福祉大学、徳島文理大学
長崎純心大学、広島文教大学、福岡大学、文教大学、法政大学、放送大学
北翔大学、北海道医療大学、明星大学、安田女子大学、立教大学

7 雇用の詳細

◆ 概要 ◆ 公認心理師実務従事者を支援する臨床スタッフの陣容

常時10名の心理職スタッフ、精神科医を含めた7～8名の医師のほか、十数名の
コメディカルスタッフが多職種で連携・協力しながら、公認心理師実務従事者を支援します。

◆ 対象分野 ◆

当院は青年～成人期の患者さまを対象としているため、疾患が限定されていません。
故に、当院の患者さまにおいては、以下のような「様々な疾患での悩み」が多いです。

うつ病 / 自閉スペクトラム症 / ADHD / 不安症（パニック症、全般性不安、
社交不安等） / 双極性障害 / パーソナリティ障害 / 適応障害 / 睡眠障害
摂食障害 / 強迫症 / 身体症 / 職場関係の悩み / 家族や友人関係の悩み
不登校 / ひきこもり / アディクション 等

公認心理師が学ぶべき「健康・医療に関する心理学」、「精神疾患とその治療」、「障
害者の心理学」、「発達」、「社会及び集団に関する心理学」等の項目に該当する支援を
当院では体験できます。

当院のような「多疾患を対象とする環境」で積んだ経験は、将来的に、「子どもから
大人まで」の様々なフィールドで役立てることが期待できます。

◆ 心理療法 ◆

当院はサイコドラマ（心理劇）や認知行動療法、SSTなどをベースとし、集団心理学に
基づいた治療や支援を行っています。

その他にも、実際の仕事の場面を模擬した環境で、パソコン等を使ったワーク・作業や
プレゼンテーションのプログラムを行いながら、そこで生じた気持ちや考え方を心理的に
扱うといった事柄も実施しています。

平日は、下記のようなデイケアの枠組みのなかでグループ治療に、土曜日には、カウンセ
リング業務などにも携わっていただきます。

◆ 復職デイケア ◆ 当院では「リワークデイケア」と呼んでいます

うつ病などの精神疾患により休職に至った患者さまを対象として、再発・再休職予防を
目的としたデイケア（リワークデイケア）を行っています。

産業医の先生方や会社との連携を行っているため、企業や産業分野に興味がある方も
歓迎します。公認心理師に求められる「産業・組織に関する心理学」などにも該当します。

◆ 就労支援デイケア ◆ 当院では「ワークサポートデイケア」と呼んでいます

発達障害を有する方々の診断と治療を中心にして、就労を目指す患者さまのデイケア
（ワークサポートデイケア）を行っています。

ハローワークの相談担当者をはじめ、障がい者就業・生活相談支援事業所や就労移行
支援、就労継続支援などとも連携した支援を行っていくため、公認心理師が学んでおくべき
「多職種連携・地域連携」にも該当する業務を経験することができます。

◆ 心理検査 ◆

WAIS-IVをはじめTEGやクレペリン、各質問紙アセスメントや投影法、最近ではVinelandや
MSPAといった近年ゴールドスタンダードになりつつある検査も導入しています。

これらの心理検査に関する事項は、公認心理師が習熟しておくべき「心理状態の観察
および、結果の分析」該当します。

◆ カウンセリング ◆

スーパーバイザーの先生の指導のもと、カウンセリングは段階的に担当することになります。認知行動療法をはじめ、精神分析的なアプローチなど、様々な治療法を当院は尊重しているため、「特定の治療法に偏らない支援を行っていく」という経験を積むことが出来ます。

◆ 外部実習 ◆

産業・司法・福祉の3つの分野の施設と提携しながら、充実した外部実習を行っており、医療の中だけでは経験することが難しい分野についての知見も深めることが出来ます。

また、実習で学んだ内容を当院の実務（法律相談、就労支援、企業連携・企業カウンセリング等）で活かしていくこともできます。

◆ プログラムのフローチャート ◆ プログラムは3年間で設計されています。

- 1年目 * 講義やレクチャーを通じて、「公認心理師としての職責と自覚」や「心理学・臨床心理学の全体像」についての理解を深めます。
* 精神医療の仕組みを学び、実際のデイケア業務として「グループ運営」や「自らが担当する患者さまとの面談」を実施します。
- 2年目 * カウンセリングの実践を開始します。
* 司法・犯罪、福祉、産業・組織などの3つの外部機関での実習があります。
* WAISなどの複雑な心理検査の実践も始まります。
- 3年目 * 各デイケアのプログラムにおいて、リーダーとして活躍していただきます。
* 実務従事者が各自でテーマとして挙げた研究の完成を目指します。
* 公認心理師国家試験の対策講座も開講して、国家試験の合格を目指します。

◆ 研修指導 ◆

- * デイケアでは、実務従事者1名に対して、指導担当スタッフが1名ずつ付き患者さまの支援に関する相談・質問をはじめ、仕事の悩みや困りごとなどもサポートします。
- * 研修初期の実務従事者と患者さまのカウンセリングには、スーパーバイザーが付きまします。
- * 実務従事者が心理検査の所見を作成する際も、必ず心理士が丁寧に添削・指導します。
- * 公認心理師実務研修者の先輩が5名（1年目：2名、2年目：3名）が在籍していることから、他の先輩スタッフには質問しづらいことや、何気ない雑談などにも応じられる雰囲気があります。（当院の実務従事者の受け入れはみなさんの代で3代目です）

◆ 院内研修の充実 ◆

- * 月に3~4回（7時間/回）は公認心理師実務者の研修時間として設定しており、（年間250時間以上）、講義形式で「心理学・臨床心理学の基礎知識から実践」まで学ぶ時間を設けています。
また、ロールプレイを用いてカウンセリング技術や各種心理検査の実習によって、実習から実践まで一連の流れをサポートするだけでなく、3年目以降は公認心理師の試験対策に向けた講義・研修を設定して、国家試験の合格を支援します。

< 講義の例 > 臨床心理学、精神医学、各種疾病理解、集団精神療法
精神分析理論、認知行動療法、人格理論、人間性心理学、交流分析
心理力動論、家族心理学、各種心理検査の理論と解釈、事例検討
公認心理師：国家試験合格に向けた試験対策 等

- * 院内で「患者さま支援の事例検討会」を月に2回実施し、実務従事者のみなさんが担当したケースについても検討します。
- * 月1回開催される「サイコドラマ（心理劇）」の練習会（指導者の養成講座）に加えて、SST（Social Skills Training）の練習会やスタッフ主催の院内研修会も頻繁に行っておりクリニック全体でスタッフの自己研鑽をサポートしています。
- * 医療現場での幅広い経験を積むために「他の職種に関する定期的な研修」があります。

8 プログラムの特色（続き）

<p>8 プログラムの特色（続き）</p>	<p>◆ 研究活動 ◆</p> <p>当院では研究発表などにも力を入れています。公認心理師が経験・習熟しておくべきと当院が考える <u>心理学における研究</u> や <u>心理学に関する実験</u> に取り組んでいただきます。 実務従事者のみなさんは、プログラム2年目の終盤にそれぞれの研究テーマを決めて、実務従事者の育成プログラムの集大成として「3年間の経験を1つの研究」にまとめます。</p> <p>このような研究実績が「今後のみなさんのステップアップ」に繋がることも期待しています。</p> <p>◆ 実務従事者による自己研鑽のサポート ◆</p> <ul style="list-style-type: none"> * 学会費、学会への参加費、各種研修への参加費などの助成を行っています。 * 心理士のスタッフ内のコミュニティの中で、定期的に外部の研修情報などを共有します。
<p>9 当院の差別化ポイント</p> <p>当院での実務経験を通じて公認心理師を目指すことで得られるであろうメリット</p>	<p>◆ 「大人向け支援」へのニーズ拡大、「仕事にまつわる支援」へのニーズ拡大 ◆</p> <p>今後、学生のみなさんが定年退職を迎える頃までは、就労に関する環境はますます厳しくなることが予想され、リワーク（復職支援）やワークサポート（就労支援）が強みの当院へのニーズは高まると予想しています。</p> <p>当院で身につけた心理職としての「腕や経験値」を活用できる職場は多いと考えています。</p> <p>.....</p> <p>以下A～Dの事由によって、労働人口は増加しつつも（働きたい人が増えつつも）、求人数の減少傾向が続くことが予想され、労働人口世代を支援する当院のニーズは高いと思われます。</p> <p>A: 急速な人口減少 と 急速なAI化 …… 左記2つの要素が相乗し、求人数は減少 B: 年金支給開始年齢の引き上げ …… 労働人口が「～60歳」から「～75歳」までに C: テレワーク・リモートワークの拡大 …… ON・OFFの境目がなくなり、心が緩む時間が急減 D: A と B の組み合わせによって …… 求人数は減る一方で、逆に働きたい人は増加 E: A ～ C の組み合わせによって …… 就労に関する困りごとが発生しやすい時代になる</p> <p>故に、「就労に関する困りごとの支援」が特長である当院への期待は今後ますます高まるでしょう。</p> <p><ア> テレワーク拡大の弊害</p> <p>3月放送のNHK「コロナメンタルクライシス」で紹介された通り、テレワークの弊害で「ONとOFFの境界（緊張と弛緩の区別）」がつかなくなり、今後は「休職などの」就労上のトラブル増加が予想されます。</p> <p><イ> 急速なAI化、急速な人口減少</p> <p>OXFORD 大学と日本最大手シンクタンク「野村総合研究所」の研究結果から「心理職のニーズに対するAI化の影響は小さい」という推察ができます。</p> <p>また、以下の点から「求人数は減る一方で労働人口は増加」という予想も立っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AI化の影響範囲（人間の仕事の49%がAIに代替されるという研究結果） ・ 人口ピラミッドの構造変化（少子化と平均年齢の伸び） ・ 年金支給開始年齢の引き上げ（定年年齢引き上げで労働人口は増加） <p><ウ> 複雑な背景が絡む「大人のメンタルヘルス」 幼年～青年期の先にある複雑な世界</p> <p>当院の患者さまの年齢層は「労働人口」に該当する18歳～定年退職です。これらの方の症例の背後には、以下のような多くの要素が複雑に絡んでいます。故に、幼年～青年期までの理解が不可欠であるため、当院では、全ての年齢層の心理学的知見に触れることができます。</p> <p>家庭（親・配偶者・子供）、学校（先生・子供の親・PTA）、親戚づきあい・冠婚葬祭 借金、ギャンブル、交際トラブル、仕事・職場関係（社内いじめ・セクハラ・パワハラ・モラハラ） 社外の人との交流、趣味の仲間、昔からの腐れ縁・先輩・後輩、青年期に無い病気リスク</p>
<p>10 問い合わせ先</p> <p>・ 応募書類の送付先 ・ 当院指定履歴書の様式データの請求先</p>	<p>さっぽろ駅前クリニック 発達障害ワークサポートプラザ 総務部 採用担当 森谷（もりたに）</p> <p>060-0004 北海道札幌市中央区北4条西4丁目1番地 MMS 札幌駅前ビル6階 TEL 011-223-0556 FAX 011-223-0557 メール moritani@satsueki-clinic.com</p> <p>◆当院採用ホームページ◆ 右記のQRコードでアクセスできます https://en-gage.net/satsueki-clinic_saiyo/</p> <p>◆マイナビの当院サイト◆ https://job.mynavi.jp/22/pc/search/corp252998/outline.html</p> 